

# 総合的な学習の時間学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日時 平成 29 年 6 月 14 日（水） 5 校時
- 2 学年 第 5 学年 2 組 男子 20 名 女子 15 名
- 3 単元名 日本の米のよさを伝えよう
- 4 単元について

## （1）児童観

本学年の児童は、これまで、瀬野川の自然や海田町のよさについて、課題発見解決学習を行ってきた。瀬野川について知っていることや実際に体験したことから課題を設定し、インターネット等での調べ学習を通して、児童は地域の自然に愛着をもつとともに、瀬野川の自然についてより多くの人に知らせるための方法や内容を考えることができた。これまでの学習経験を生かし、児童自ら課題発見・解決学習を進めさせていきたい。

本学年の児童には 5 月に実施した「総合的な学習の時間」についてのアンケートにより、次のような実態があることが分かった

No.	項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。	23	11	1	0
2	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないかと予想しています。	28	6	1	0
3	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	14	19	2	0
4	授業では、調べたことや分かったことなどを、言葉、図、グラフ、表などにまとめています。	24	11	0	0
5	授業では、比べたり、仲間わけをしたり、関係を見付けたりして、何が分かるかを考えています。	21	14	0	0
6	授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	19	12	4	0
7	授業では、自分の考えに理由をつけて、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	17	12	6	0
8	ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	24	11	0	0
9	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」を考えています。	23	9	3	0
10	学習したことを振り返って、自分の考え方が変化したり、できることが増えたりすることに気付いています。	23	9	2	1
11	最後まであきらめずに物事に取り組んでいます。	27	7	0	1

「⑥授業では友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり広げたりしています。」と「⑦授業では、自分の考えに理由をつけて、相手にわかりやすく伝えるように発表を工夫しています。」の調査項目が他の項目に比べ肯定的な回答が少ないことから、自分の考えを深め、相手にも分かりやすく伝える力に課題があるといえる。また、85%の児童が米や和食は好きであると答えたが、米の作り方については22%の児童がまったく知らないと解答し、34%の児童は「田植えをする」ということしか知らなかった。本校の校区内には田んぼはほとんどなく、児童にとって米作りは身近なものではない。

## （2）単元観

本単元は、米作りを通して、「米」に対する関心を深め、「米」をとりまく問題を追及していく中で、地域の農業や生産者の現状と日本の食糧問題、日本の食文化のよさについて調べ、自分たちの生活とのかか

わりについて考えることをねらいとしている。さらに、保護者や他学年に伝える活動を通して、日本の伝統文化を尊重する態度を育てていく。

お米は、日本人の主食であり、わが国では二千年以上前からコメを中心とする食文化を育ててきた。近年では、和食がユネスコ無形文化遺産に認定されるなど、世界中から日本の食に対する注目が集まっている。しかし、日本国内では、食生活は大きく変化し、肉や小麦、乳製品の消費量が増加する一方で、米の消費量は大きく減少している。それに伴って、栄養バランスに優れた和食や地域において継承されてきた特色ある食文化が失われつつある。そこで、米作りを題材に、日本の米のよさを伝えるために、児童が田植えや稲刈りなどを直接体験し、日本の米のよさについて調べ、探究的に学ぶのにふさわしいと考え本単元を設定した。

### (3) 指導観

本単元は、1年間を通して米作りを題材として、課題発見・解決学習を展開する。

第1次では、日本の米作りについての児童の知識を出し合い、米作りを通して探究する共通の課題「日本の米のよさを調べよう」をもたせ、調べ学習を行う。課題をもたせるために、タイ米や日本のブランド米などの品評会を行い、違いや日本の米のよさに気付かせるようにする。また、日本の米の生産量は年々減少していることなどの現状を知らせ、課題につなげるようにさせる。課題解決に向けてゲストティーチャーに教えてもらいながら米作りを体験するとともに、日本の米作りの現状について調べ学習をする。社会科の学習「私たちの食生活と食料生産」の学習とも関連付け、米作りが抱える問題と解決するために行われている取組について学んだことを生かすようにさせる。また、家庭科の学習で行う味噌汁とごはんの作りの中でも、だしをとることのよさや、調理の際の日本人の知恵に気付かせ、日本食のよさに触れることができるようにする。調べたことをもとに中間報告会を行い、さまざまな視点から日本の米のよさについて考えさせていきたい。

第2次では、第1次の中間報告会の内容をもとに、新たな課題を見つけ、さらに調査活動を行う。日本の米のよさにスポットを当て、これから自分たちにできることを考えさせる。その際、日ごろの自分たちの生活を見直し、実現可能な範囲でどのようなことができるか話し合わせるようにする。保護者に向けて調べたことや考えたことをパンフレットにまとめて渡す。国語科「和の文化について調べよう」の学習とも関連させ、様々な本や資料を目的に合わせて読み、資料を活用して相手に分かりやすく伝えるようにさせる。

第3次では、「米作り報告会」に向けて、聞き手にとって分かりやすい発表の仕方や内容を考えさせていく。日本の米のよさを4年生に伝えるために、どのような方法や内容が効果的か考えさせる。4年生に伝わるような話し方や掲示物を考えさせ、聞き手を意識して発表をさせるようにする。

このような学習を通して、児童一人一人が自分の考えをもち、その考えをもとに友達、ゲストティーチャー、他学年と話したり体験したりする中で、かかわり合うことのよさを実感させたい。また、友達と協力してものづくりをしたり、討論で考えを練り上げたりすることにより、他者とのよりよいかかわり方を学び、日本の食文化を大切にしていきたいという気持ちを育てることができると考える。

## 5 単元の目標

米作りを通して、日本の食糧生産や食文化について関心をもち、我が国の伝統や文化のよさに気づき、大切にしようとする。

調査結果を適切に比較することで、自分たちの生活と「米」とのかかわりに気付く。

## 6 単元で育てたい資質・能力

### 【学習方法に関すること】

- ア 日本の米作りの現状の中から課題を発見し，設定する。
- イ 課題解決を目指して事象を比較したり，関連付けたりして考える。
- ウ 相手や目的に応じて，分かりやすくまとめ，表現する。

### 【自分自身に関すること】

- エ 日本の米作りについて進んで探求する。
- オ 自らの生活の在り方を見直し，自分にできることを進んで実践する。
- カ 自分の認識や思いの変化を客観的に捉える。

### 【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れる。
- ク 理由や根拠をつけて自分の意見を発表している。
- ケ 日本の食文化を大切にしようとしている。

## 7 評価規準

学習方法	自分自身		他者や社会とのかかわり	
	主体性	自己理解	コミュニケーション能力	地域への愛着
ア日本の米作りの現状の中から課題を発見し，設定する。 イ課題解決を目指して事象を比較したり，関連付けたりして考える。 ウ相手や目的に応じて，分かりやすくまとめ，表現する。	エ日本の米作りについて進んで探求する。 オ自らの生活の在り方を見直し，自分にできることを進んで実践する。	カ自分の認識や思いの変化を客観的に捉える。	キ異なる意見や他者の考えを受け入れる。 ク理由や根拠をつけて自分の意見を発表している。	ケ日本の食文化を大切にしようとしている。

## 8 指導と評価の計画（全 45 時間）

### 第1次 日本の米のよいところを知る（15 時間）

- ・日本の米作りの現状と課題を知り，「日本の米の魅力を伝えたい」という共通の課題をもつ。
- ・ゲストティーチャーに教えてもらいながら田植えをし，稲を育てる。
- ・日本の米について調べたことについて中間報告会をする。

### 第2次 日本の米について調べたことを深める（10 時間）

- ・日本の米のよさを伝えるために必要な情報を集める。
- ・調べた情報をまとめ，パンフレットを作る。

### 第3次 日本の米のよさを伝える（10 時間）

- ・日本の米のよさについて他学年に伝えたいことを話し合う。
- ・伝えたい内容について興味をもってもらうための発表方法を考える。
- ・他学年に向けて発表会を行う。

第1次 日本の米のよいところを知る (15時間)

	時	学習内容	評価					評価規準 (評価方法)
			課題発見・解決力	主体性	自己理解	コミュニケーション能力	地域への愛着	
日本の米のよいところを知る	1 2	<b>課題の設定</b> ○これまでの学習を振り返り、自分たちが取り組んでいく課題を話し合う。				○		・異なる意見や他者の考えを受け入れる【他ーキ】 (発言・行動観察)
		○ジャポニカ米とインデイカ米を食べくらべ、違いに気付く。 ○和食が無形文化財になっていることを知る。					○	・日本の食文化を大切にしようとしている。【他ーケ】
	3 本時	○日本の米について、これから調べたいことや調べる方法を話し合う。	○					・日本の米作りの現状の中から課題を発見し、設定している。【学ーア】 (発言・行動観察)
日本の米のよさを調べる	4 5 6 7 8	<b>情報の収集</b> ○稲の種まきをする。 ○代掻きをする。 ○田植えをする。 ○体験を通しての気づきを交流する。			○		○	・自分の認識や思いの変化を客観的に捉える。【自ーカ】 (発言・行動観察・ワークシート)
	9 10 11	○本やインターネットを使って、日本の米のよさについて調べる。		○				・日本の米作りについて進んで探求する。【自ーエ】 (行動観察・ワークシート)
	12 13	<b>整理・分析</b> ○中間報告会に向け、資料作り発表準備をする。				○		・異なる意見や他者の考えを受け入れている。【他ーキ】 (発言・行動観察)

日本の米のよさについて考えを深める	14	<b>まとめ・創造・表現</b> 日本の米について中間報告会を行う。				○	・理由や根拠をつけて、じぶんの意見を発表している。【他ーク】 (発言・行動観察)
	15	<b>振り返り</b> ○調べたことや話し合ったことを振り返り、新たな課題を見つける。 ○単元全体を終えて、自分の成長について振り返る。		○	○		・自らの生活の在り方を見直し、自分にできることを進んで考えている。【自一オ】 (発言・ワークシート)  ・自分の認識や思いの変化を客観的に捉える。【自一カ】 (発言・ワークシート)

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

日本の米作りの現状を知り、これからの学習課題を設定することができる。

### (2) 観点別評価規準

#### ◎課題発見・解決力

日本の米作りの現状の中から課題を発見し、学習課題を設定することができる。  
(発言・ワークシート)

### (3) 準備物

掲示物 パソコン テレビ ワークシート

### (4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 (・) ◆配慮を要する児童への支援	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
導入	1 前時までの学習を振り返る。  2 資料を見て、気づきを交流する。  3 本時のめあて	・写真を見せ、これまでの体験を振り返りながら、日本の米のよさを想起させる。  ・日本の米作りの現状がわかる資料を提示し、分かることを整理する。 ・米の消費量の変化のグラフ ・1 番米を食べる国はどこか ・日本人の和食離れ	
	資料を見て、これから調べたいことや、やってみたいことを話し合おう。		

展開	4	付箋に疑問に思ったことや予想, やってみたいことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 思いつくものをできるだけ多く書かせる。</li> <li>• 疑問から予想, 予想から解決方法を考えさせる。</li> <li>◆ 「なぜ～なのだろう」「たぶん～」など例を示す。</li> </ul>	
	5	ペアで考えを整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 疑問→予想→解決方法の流れができるように付箋の位置を変え, 矢印を書き込ませる。</li> </ul>	
	6	グループで意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1つの疑問に対して複数の予想が出るように話し合わせる。</li> <li>• 意見を発表させ, 疑問→予想→解決方法の流れが分かるよう板書に整理する。</li> </ul>	
まとめ	7	自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分が一番調べてみたいことを決め, ワークシートに記入させる。</li> <li>• どのような方法で調べるとよいか考えさせる。</li> </ul>	★日本の米作りの現状の中から課題を発見し, 設定している。(発言・ワークシート)
	8	本時, 振り返りをし, これからの学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これから調べてみたいと思うことや, 友達の意見で参考になったことについて振り返らせる。</li> </ul>	
<p>めざす児童像</p> <p>日本の米の消費量が年々減少していることを疑問に思った。ぼくはごはんが好きな人が減ってきているのではないかと考えた。ごはんをもっと好きになってもらうためにごはんのよさを伝え, ごはんに合う食べ物のレシピを調べたり考えたりしてみたい。</p>				

### (5) 板書計画

